



檜島地区まちづくり協議会は4月7日、大雨を想定した避難訓練を実施。緊急放送と消防団積載車による避難の呼び掛けで、放送の10分後には各組で点呼が完了し、47人が集まりました。

点呼後、消防団から消火栓の使い方と、竹と衣類でつくった担架での救助の実演、住民の代表者から、普段準備している非常時の持ち出し品・備蓄品の説明が行われ、最後に避難公園建設予定地の見学を行いました。

その後、各家庭にあるものを持ち寄った炊き出し訓練と地区の花見を行いました。

楽しそうに談笑する姿も見られ、地区の皆さんが集まる良いきっかけとなりました。



消火栓の放水の実演



竹と衣類でつくった担架



非常時に備え、こんなものを準備しています

4月21日に開催した意見交換会では、「人数が少ないので、みんなに参加してもらいたい」「大雨と地震を想定したときの違いがわからなかった」「みんなの健康状態がわかるいい機会」など、避難訓練の反省点や良かった点を話し合いました。

協議会では、皆さんの声を生かしながら、今後も訓練を継続していくそうです。

回復興整備課 まちづくり推進室 ☎ 289 - 2930

#### 木山地区のまちづくりに係る談話室

場所 ミライ-バコ mirai-baco. (木山仮設商店街内)

日時 水曜日と第2・4日曜日の午前10時～正午

## 復光興 REPORT

今回は、町の基幹産業である、農業関係施設の復旧について取り上げたいと思います。熊本地震では、建物や道路だけでなく、農業用水路や農業用ため池も被害を受けました。発災から1～2年は、作付けに必要な水が確保できず、多くの水田で水稻



を作ることができませんでした。現在では復旧も進み、6月初旬から中旬にかけて、去年までより多くの地域で田植えを行う姿が見られるでしょう。



**1** 木山中学校南側を流れる木山川の下を通っていた管が、熊本地震により破損 **2** 木山川の北側、南側にある水槽。サイフォンの原理を利用し、南側の水槽から川の下を通り、北側の水槽に水を送り、木山川北側にある水田にも水を張ることができる

